

平成26年度第1回四街道市保健福祉審議会高齢者部会会議録

開催日時 平成26年8月29日(金) 13:30～15:30

場 所 福祉センター3階会議室1

出席委員 秋山委員、原委員、島委員、栗原委員、許斐委員、石野委員

欠席委員 澁谷委員

事務局 小澤福祉サービス部長、濱口高齢者支援課長、齋藤主幹、能勢副主幹、
小高副主査、坂本副主査

傍聴人 5名

会議次第

1. 開会

2. 委嘱状交付(臨時委員)

3. 福祉サービス部長挨拶

4. 正副部会長選出

5. 部会長挨拶

6. 議題

①現行計画(第5期計画)の進捗評価について(報告)

②要支援・要介護認定者調査及び日常生活圏域ニーズ調査結果について(報告)

③第6期計画策定に係る各団体との意見交換会の結果について(報告)

④その他

7. 閉会

1. 開会(13:30開始)

2. 委嘱状交付(臨時委員)

(臨時委員2名に対し委嘱状交付)

3. 福祉サービス部長挨拶

(福祉サービス部長より挨拶)

4. 正副部会長選出

(部会長の選任にあたり、委員より事務局に一任との発言があったため、事務局より原委員を選出。副部会長については、原部会長より澁谷委員を選出。)

5. 部会長挨拶

(原部会長より挨拶)

6. 議題①現行計画（第5期計画）の進捗評価について（報告）

（事務局より、現行計画（第5期計画）の進捗評価について説明）

（秋山委員）

四街道市に訪問歯科診療を受け入れてくれる方はどの程度いるのか。

（健康増進課）

市で行っている訪問歯科診療については、歯科医師会に加入されている歯科医にご協力いただいています。手元に資料がないため、具体的な数はこの場で申し上げられませんが、開業されており歯科医師会に加入されている歯科医ほとんどの方に受け入れていただいています。

（栗原委員）

5段階の進捗状況評価と、今後の方針というのはどのような相関性を持っているのか伺いたい。また、今後の方針は次期計画まで引き継がれるものなのか確認したい。

（濱口課長）

相関性についてですが、それぞれの担当課の考え方があるため、一概に言えません。また、今後の方針については第6期計画を進めるうえで、方向性を考え、方針を進めていくということです。

（栗原委員）

例えば、47頁複合型サービスの今後の方向性の内容を見ると、今後の方針は「充実させる」が妥当ではないか。

また、45頁小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護の課題が、採算面の不安から整備が進まないということであれば、積極的な事業支援を行うことによって、施策を発展させることができると考えますが、見解を伺いたい。

（濱口課長）

まず47頁複合型サービスについてですが、応募者はいなかったものの、公募は毎年行っております。このように公募という計画を進めておりますことから「計画どおり」としました。また、今後の方針につきましても、事業者の公募を「継続」いたします。

小規模多機能型居宅介護につきましては、1事業所につき最大3千万円という大きな県の補助金がございますので、こういった制度を利用して更に公募していきます。

（栗原委員）

地域密着型サービスについて、これまで四街道市では重要視して進めてきたと認識して

いたが、今後も従前どおり積極的にバックアップしていくという認識で変わりはないか。

(濱口課長)

変わりありません。

(秋山委員)

7頁介護予防教室について、以前は毎月開催していたが、年4回に減らされた地区もある。以前のように回数を増やすことはできないか。

(濱口課長)

介護予防教室につきましては、新たな団体を開拓し、広く多くの皆さんに参加いただきたいという考えでおります。もちろん、今いただいたご発言も考えながらやらせていただきます。

(栗原委員)

26頁地域包括支援センターについて、先ほど見直しというお話があったが、具体的なイメージをどのように考えているのか伺いたい。

(濱口課長)

本市には日常生活圏域が2つあり、本来、日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置するところですが、現在、本所であるセンター1箇所とサブセンター3箇所を設置し、一体的に地域包括支援センターとして運営しています。

第6期においては、高齢者の増加とともに、「在宅医療・介護の連携」「認知症施策の推進」など、新たに行う業務も増えるため、日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置する案を考えています。また、複数の地域包括支援センターを設置するにあたり、国の方針を踏まえ、1箇所を基幹型センターに、もう1箇所を地域型センターとして設置する方向で検討しています。

6. 議題②要支援・要介護認定者調査及び日常生活圏域ニーズ調査結果について（報告） （事務局より調査結果について説明）

(栗原委員)

46頁苦情・不満を申し出なかった理由について、「どうせ解決にならないと思ったから」、「申し出をすることはわがままのようで、あまりよくないと思ったから」という大変厳しい理由が入っている。これらのことに関して、四街道市ではどのような考え、取り組みをされているのか伺いたい。

(濱口課長)

地域包括支援センターや高齢者支援課にご相談いただけなかったのは大変さみしい思いです。高齢者のことであればどのようなことでも地域包括支援センターにご相談くださいということを広報しているところですが、まだまだ認知度が低い部分がありますので、これからも広報活動を継続して広く周知を図っていきたいと考えています。

6. 議題③第6期計画策定に係る各団体との意見交換会の結果について（報告）

（事務局より、内容について説明）

(秋山委員)

私も認知症サポーターをやっているが、実際にどこまで踏み込んでいいのかわからず困っている。現状では民生委員の方にお知らせする程度に留まっている。

(濱口課長)

認知症サポーターは、その方のできる範囲でサポートをしてくださいという趣旨のものです。認知症サポーターにも様々な立場がありますので、その方のできる部分で支え、また広げていく制度であります。

(栗原委員)

施設から地域へと言われているが、地域というものをどのように捉えているか。また、行政がどのような形で関わりを持っていこうと考えているのか伺いたい。

(濱口課長)

国の方針で、医療報酬の改定などがあり、入院施設から地域へという流れがあります。ただ、千葉県及び四街道市においてはまだまだ特養が不足している状況ですので、今後も施設整備は進めていきたいと考えています。また、在宅支援の観点では、介護職、医療職、行政など多職種協働による連携を進めていきたいと考えています。

6. 議題④その他

（事務局より次回高齢者部会の開催、議題それぞれの予定について説明）

7. 閉会（15：30終了）